

読売新聞 きょう（1月30日）のイチ押し

1面・2面 新生児の難病検査 地域差 26都府県 実施なく

早期発見すれば救命が可能になった2つの難病について、新生児の検査体制に地域差があることが、読売新聞の調査でわかりました。

- ★ 先天性の病気を早期発見し、治療に結びつけるため、都道府県や政令指定都市が生後4～6日の新生児を対象に公費で行っている「新生児マスキリーニング検査」の際に、感染に対する抵抗力がない「重症複合免疫不全症」(SCID)と、全身の筋力が低下する「脊髄性筋萎縮(いしゆく)症」(SMA)の検査を実施しているかを調べました。
- ★ 2022年11月現在で、SCIDとSMAの両方の検査が実施されているのは18府県にとどまり、3道県ではSCIDのみを実施、26都府県では、いずれも行われていませんでした。
- ★ 早期発見で救命が可能であるため、医師や患者家族らは「格差を解消すべきだ」として、国に全国一律の実施を求めています。

1面(一部)・社会面 雪崩 複数人巻き込まれ 長野・小谷

29日午後2時半頃、長野県小谷(おたり)村の北アルプス白馬乗鞍岳天狗原の東側斜面(標高約2100メートル)で雪崩が発生し、整備されていない雪山を滑る「バックカントリースキー」をしていた5人が巻き込まれたとみられます。うち2人が意識不明で、現場に取り残されています。

- ★ 県警大町署によると、現場では当時、外国人の3グループ計13人が滑っていたとみられます。うち11人は近くの柵池高原スキー場の麓に下山。男性1人が右肩を脱臼し、救急車で運ばれました。
- ★ 小谷村では27日夜に大雪警報が出され、一晩で約40センチの雪が降りました。古い積雪の上に積もった新雪が滑り落ちる「表層雪崩」の恐れがあるとして、当時、なだれ注意報が出ていました。

他紙と比べて

将棋の第35期竜王戦七番勝負で初防衛を果たした藤井聡太竜王の就即位式が30日、東京都内で行われます。14ページと16ページの特別面で、藤井竜王へのインタビューと写真で初防衛を果たすまでの軌跡を振り返っています。竜王の七番勝負自戦解説では、対局後、AI分析で見いだした「幻の絶妙手」も紹介しています。